

令和7年9月 「はこでみ親の会 フォローアップ！」

はこでみ親の会を開催しました。

今回の親の会の中で印象的だったのは、「この前子どもとケンカしました！」というある保護者様から聞いたエピソードです。我が子とのケンカのエピソードは、よく聞く話で珍しいものではなく、誰しも経験したことのある話だと思います。

しかし、その保護者様とお子様との関係性や今までの状況を長年聞いてきた立場としては、今回のエピソードはとても感慨深く、その大きな変化に感動を覚えました！

はこでみ親の会にご参加の保護者様のお悩みは多種多様です。「家庭での関わり方」「学校でのトラブル」「学習面の心配」「将来の不安」「ゲームやユーチューブ対策」「不凍港の悩み」などなど。挙げればキリがありません。それだけ保護者様は毎日様々な問題に直面し、悩み苦しみ、中々解消出来ない不安を抱えていらっしゃいます。そんな不安定な状況を悪化させない為に、どうしても我が子への関わり方が慎重になり、腫れ物を触るような関わりが続いてしまうケースが多く見られます。

今回のエピソードを話された保護者様も正にそういう状況が長く続いていらっしゃいました。

「私の一言が状況を悪化させたらどうしよう？」
「言葉かけを間違えたら更に落ち込むかもしれない。」

「せっかく立ち直ってきたのに、私のせいで不安定な状況が長引いたら最悪だ。」
などの不安が頭をよぎり、日々の我が子への関わりに神経をすり減らし疲弊されていました。

そんな状況が時を経て改善(もちろん長い間の親子の懸命の努力の賜物です)され、日常生活の中で気兼ねなく親子喧嘩ができるようになったのです！

大多数の方には当たり前で特に意識しないような出来事も、発達特性のある子どもを持つ保護者様にとっては我が子の大きな成長の証となり、特別な出来事として記憶に刻まれます。

私自身もこのエピソードを聞いて、子どもの成長と共に保護者様の我が子への大きな愛と毎日の懸命の努力を感じ、心から感動しました！

